

日本語の学習機会が得にくい地域に住む外国人のための
「遠隔日本語教育」のすすめ

＜遠隔日本語教育指導マニュアル＞

山梨県立大学
遠隔日本語教育プロジェクト

はじめに

1990年代からの来日外国人急増の影響は、それまであまり外国人を見かけることのなかった地方都市にも及びました。私たちが遠隔日本語教育を実施した山梨県も、在住外国人が増加した地域の一つです。

このような地域には、ある共通した特徴があります。一つは、日本語教育機関の数が少ないと、日本語教育を専門にする人の数が限られていることです。また、公共交通機関が大都市ほど整備されておらず、地域住民は主に自家用車を移動手段としているという点も特徴の一つです。

このような環境で日本語を勉強しようとする人々には、物理的にさまざまな困難があります。来日してから一度も日本語を学ぶ機会がなく、工場とアパートを自転車で往復するだけという人も珍しくありません。このような「潜在的な学習者」に日本語学習の機会を提供するには、どうしたらよいでしょうか。

日本語教室を学習者の近所に開設する、というのがおそらくもっともよい方法だろうと思いますが、それには経費と人手が必要です。また、通いやすい場所に公共施設があるかどうか等、会場の確保も容易ではありません。

こうした地理的な諸条件とは関係なく日本語学習環境を提供できる手段の一つが、この冊子でご紹介する遠隔日本語教育です。今回紹介する遠隔日本語教育は、インターネット回線を使ったテレビ電話システムを活用したものです。このツールを利用すれば、遠隔地にいる学習者と日本語指導者をきわめて簡単に繋ぐことができます。また、テレビ電話による遠隔教育のメリットは、Web上の教材開発に要する費用がかからない点にあります。さらに、テレビ電話という多くの人

が利用しているシステムを使用しているため、誰でもすぐに始めることができます。

私達は、2007年より、企業で働く外国人就労者のために遠隔日本語教育を実施してきました。その後2009年からは、県内の外国人学校と大学を繋ぎ、外国人学校に在籍する子どもたちに日本語教育を行っています。この冊子は、その間の知見をまとめたものです。今後、遠隔による日本語教育を実施してみようと考える人のため、方法や手順をQA形式で解説しました。この冊子で扱う学習者は子どもたちですが、成人に対して活用することももちろん可能です。

この冊子を通して、現在十分に日本語学習の機会が得られない人たちに、学習の機会が提供できれば幸いに思います。同時に、日本人や日本社会と隔絶して住んでいる外国人たちが、遠隔教育を通して、日本人、日本社会と何らかの接点を持つてくださることを希望しています。

2012年3月31日
遠隔日本語教育プロジェクト
代表 安藤 淑子



山梨県南アルプス市遠景

目 次

遠隔教育とは P 1

教室の授業と遠隔教育の違いについて P 2

1. 遠隔日本語教育の実施にあたって P 5

Q 1 まず何からはじめたらいいでしょうか？

Q 2 遠隔日本語教育を始めるのにどんな機器が必要ですか？

Q 3 テレビ電話システムを利用するにはどうしたらいいですか？

Q 4 誰でも簡単に使うことができますか？

Q 5 コストはどれくらいかかりますか？

Q 6 どんなレベルの学習者に適していますか？

Q 7 学習者の人数はどれくらいが適当ですか？

Q 8 指導の回数や時間などはどのように決めたらよいでしょうか？

Q 9 どんな人でも教えることができますか？

Q 10 どんなことを教えたらよいでしょうか？

2. 遠隔日本語教育の教え方 P 17

Q 1 1 どんな授業が行えますか？具体的な指導例を教えてください。

Q 1 2 教えるとき、どんな点に注意したらいいですか？

Q 1 3 どんな教材が使えますか？

Q 1 4 教材の効果的な使い方を教えてください。

Q 1 5 遠隔教育で使えるゲームなどを紹介してください。

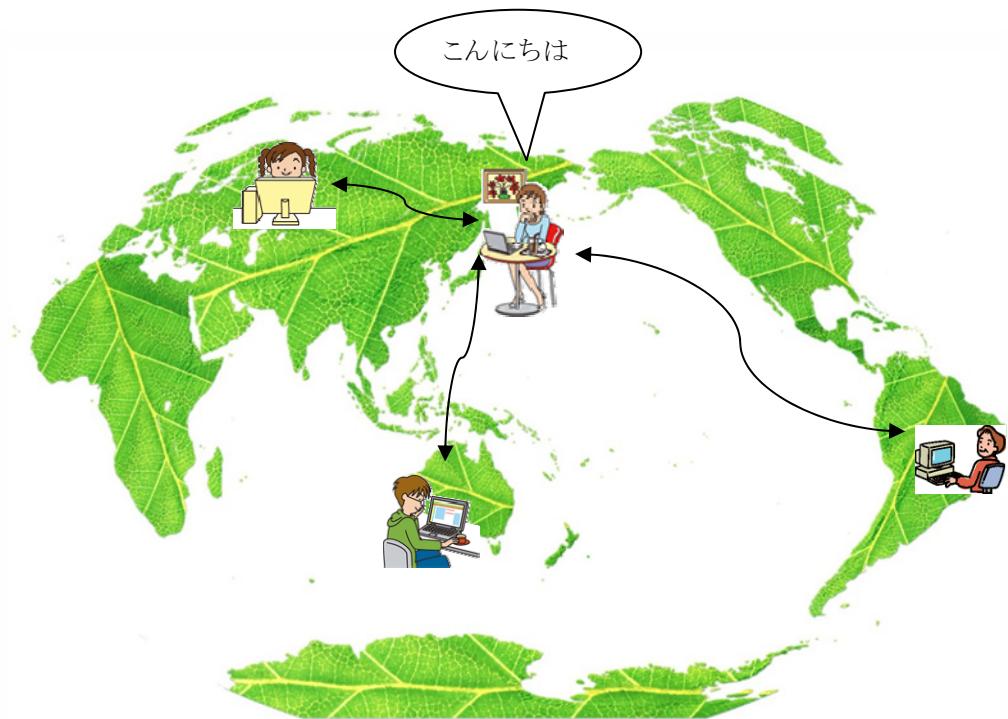
- ① 授業の指導案 例①
 - ② 授業の指導案 例②
 - ③ 語彙のテスト

遠隔教育とは

遠隔教育とは、指導者と学習者が離れたところで授業を行うことを言います。

遠隔教育には、指導者と学習者が同じ時間にインターネットを接続し、テレビ電話を利用して対面形式で授業を行う方法があります。その他に、同じ場所にいなくてもメディアを通して学ぶ語学講座や通信教育、パソコンを使った e ラーニングなどがあります。

この冊子では、私たちが無料のテレビ電話システム Skype を利用して行った日本語の授業を紹介します。



教室の授業と遠隔教育の違いについて

遠隔教育では、指導者と学習者の双方が学習の場（日本語教室など）に移動する必要がありません。そのため、移動に必要な費用や手間、時間的なロスがありません。指導者と学習者の都合が合い、インターネットが接続できるところであれば、いつでもどこでも行うことができます。たとえば、海外にいる人と繋いで日本語を教えることもできます。あらかじめ決められている教室の授業では、このような対応はできません。

また、対面して行う遠隔教育の場合、学習者は指導者にその場ですぐに質問をし、問題を解決することができます。指導者も学習者がどのくらい理解しているかを知ることもできますので、学習者の進度やレベルに合わせて学習の内容を調整することができます。何よりお互いの表情を見ながらコミュニケーションができるので、事前に準備された教材を使って会話練習をするより、いろいろな会話ができ、生きた日本語を学ぶことができるでしょう。

一方で、遠隔教育では、指導者と学習者が同じ教室にいるわけではありませんので、指導者が移動して学習者の様子を観察したり、サポートすることはできません。ですから、教室の授業に比べて学習者の管理が難しいと言えます。

また、遠隔教育では画面を通して対面しているため、わずかな沈黙の間に心理的な距離が離れてしまったり、学習者が授業に集中できなくなったりすることもあります。遠隔教育における指導方法に関しては、この冊子の Q11 を参考にしてください。

また、遠隔教育では、パソコンのカメラの視野が狭いため、画面に制約があります。教材の大きさ、提示の仕方なども教室の授業と

同じ方法ではできません。教材等に関して詳しいことは Q12.13 を参考にしてください。

以上のように、教室授業に慣れている人には遠隔教育に馴れるまで、いくらか戸惑いを感じることもあるかと思います。そんな時、この冊子が少しでもお役に立てば幸いです。



1. 遠隔日本語教育の実施にあたって

Q1 まず何からはじめたらいいでしょうか？

遠隔日本語教育は、パソコンとインターネット環境があれば始められます。けれども日本語教育を始める前に、まず学習者のことについて知ることが大切です。これは、教室で日本語教育を行う場合と同じです。

- ① どんな時に日本語が必要なのか
- ② 日本語を勉強したことがあるのか
- ③ 現在の日本語のレベルはどのくらいか

などを知った上で、日本語教育をはじめる必要があるでしょう。

ちなみに、私たちが外国人学校の子どもたちと日本語学習を始めたときには、まず子どもたちの日本語の授業を見学しました。また、外国人学校の校長先生から、子どもたちの日常生活などについて聞き取り調査を行いました。学習を始めた後は、学習の内容や進度、指導に対する要望等について何度か話し合いを行っています。

もし学習者が日本の学校に通う児童生徒である場合には、日本語指導を担当する先生や学校関係者と、また会社で働く人の場合は職場の関係者と話をすれば、より効果的な教育内容を設定することが可能になると思います。

いずれにしても、学習者に関わる人々との連携や協力があれば、より多くの成果を期待することができるでしょう。



Q2 遠隔日本語教育を始めるのにどんな機器が必要ですか？

パソコンとウェブカメラ（パソコンにカメラが内蔵されていない場合）が必要になります。

また、学習者の人数が多い場合や、学習者のいる位置パソコンと離れている場合など、環境によってはスピーカーやマイクが必要になる場合もあります。

〈いろいろなウェブカメラ〉



Q3 テレビ電話システムを利用するにはどうしたらいいですか？

まずインターネットが使用できる環境を整えることが必要です。その後テレビ電話システム(比較的よく使われる Skype は無料で利用可能)をダウンロードして、通話のための ID を取得してください。

注)学習者も同じシステムを利用し、ID を取得する必要があります。



Q4 誰でも簡単に使うことができますか？

Skype の操作は比較的簡単で、専門的な知識や技術は必要ありません。画面上に操作の手順が表示されるため、それに従えば簡単に利用できます。

注) なお、インターネット回線を用いるため、接続状態によっては音声がクリアでない時もあり、場合によっては接続が中断することもあります。)



Q5 コストはどれくらいかかりますか？

Q3で述べたように、私たちが使用した「Skype」は無料でダウンロードできるので特に費用はかかりません。

しかしパソコンの購入費用や、パソコンにカメラがない場合のWEBカメラ購入費用、またインターネットに加入する際の費用や、使用料などが別途必要になります。また、Q2の回答のように、学習者の人数や使用環境によっては、マイクやスピーカーの購入費用が別途かかることがあります。

ただ、いずれにしてもすでにパソコンを持っていて、普段からインターネットを利用している人であれば、遠隔教育のためにかかる費用はさほど多くないと言えるでしょう。



Q6 どんなレベルの学習者に適していますか。

画面上で日本語のみで行う場合、日本語が全くできない学習者に教えることは難しいと考えられます。日本語での指示がある程度聞き取れる程度の段階から行うのがよいでしょう。ただし、学習の補助者がいる場合には、その限りではありません。（Q9参照）



Q7 学習者の人数はどれくらいが適当ですか？

学習者によっては、一人で学習するのが向いている人や、複数での学習が向いている人がいます。また、学習者の人数によっては、授業の方法も幾分異なってきます。

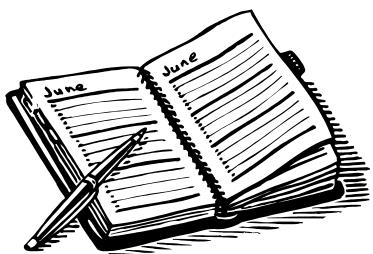
いずれにしてもウェブカメラの視野から考えると、1～3人が適当でしょう。もし大勢の学習者を対象として授業を行うならば、ディスプレイを大型にしたり、スクリーンへ投影するなどの工夫が必要です。また、広角カメラやマイクなどの機材を使用することも考えられます。



Q8 指導の回数や時間などはどのように決めたらよいでしょうか？

私たちは週1回、50分授業を行っていました。実施の日程や実施時間については、学習者と指導者の都合に合わせて決めるのがよいと思います。遠隔教育は、個人指導に近い形になるので、たとえば一日15分というような短時間の授業を定期的に繰り返すことも可能です。

学習者の年齢が低い場合には、1回の授業時間が長いと集中力の維持が難しいことが考えられます。また、授業の間隔があきすぎると学習効果があまり期待できないことも考えられます。こうした点も考慮してみてください。



Q9 どんな人でも教えることができますか？

やる気や熱意があれば、誰でも取り組むことができます。ただし、教える内容によっては日本語教育に関する知識が必要です（次のQ10を参照してください）。また、ある程度の授業の準備が必要です（Q11～を参照してください）。

なお、指導者一人でも遠隔教育は可能ですが、もし学習者側に学習方法や授業内容を説明できる補助者がいれば、まだ遠隔教育に慣れていない人でも比較的スムーズに授業を進めることができます。



Q10 どんなことを教えたらいでしょうか？

日本語教育と一口に言ってもその内容はさまざまです。学習者が初級者の場合には、次のような内容が考えられます。

1. **文字表記の指導**：ひらがな、カタカナの読み方、書き方を指導します。一文字ごとの練習の後、簡単な単語を使って読み書きの練習をします。日本に来たばかりの学習者には、住所や名前などの表記の練習も役に立ちます。
2. **日本語の表現指導**：「こんにちは」「すみません」「お願いします」など日常よく使用される表現や、訪問時のあいさつ、自己紹介など、必要度の高い表現の練習を行います。
3. **文法・文型練習**：日本語の文法・文型の説明や練習を行います。日本語学校などで行われている授業に近い形です。教えるためには、日本語の構造や日本語の教え方について一定の知識が必要です。
4. **語彙の指導**：日常生活に必要な語彙、学習者が職業上必要な語彙などを、絵や実物を用いて指導します。意味や、読み方、書き方など、全体にわたって指導するとよいでしょう。
5. **会話の指導**：やさしい文型を使った簡単な応答練習や、「買い物」「駅」など場面を設定した練習のほか、身近なテーマについて話をします。例)「きのう、何をしましたか?」「これはいくらですか」「東京までどれくらいかかりますか」「将来、なにになりたいですか」など、学習のレベルに応じて実施します。



2. 遠隔日本語教育の教え方

Q11 どんな授業が行えますか？具体的な指導例を教えてください。

1. 語彙の学習例

- (1) 絵カード、実物、写真などを学習者に提示し、日本語で名称を答える。
- (2) 次に、名称を紙に書く
- (3) Web カメラに書いた紙を提示し、指導者は表記をチェックする。
- (4) 間違いを修正する。

教案例

時間	項目	活動	教材・留意点
10 分	語彙	<p>T: 「今日は女の子だけなので、ファッションの語彙を勉強しましょう。」</p> <p>T: 「これは何ですか？」</p> <p>T: 「これはどこに使いますか？」 (つけますか)</p> <p>指輪、帽子、マニキュア、口紅、ネックレス、マスカラ、ピアス、サングラス、などを提示</p> <p>S: 「(回答)」</p> <p>T: 「そうですね。では、いまの答えを紙に書いてください」</p> <p>.....</p>	<p>・教材：絵カード、実物</p> <p>※</p> <p>唇、まぶた、まつげなど顔の部位に関する語彙も同時に教えることができる</p>



絵を提示する



間違いを修正する

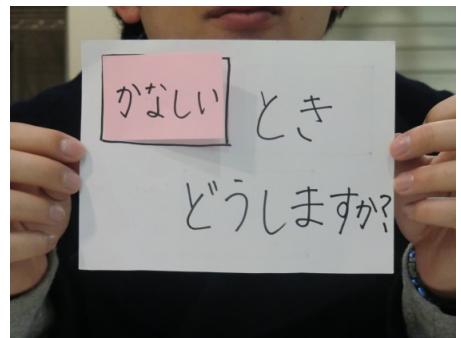
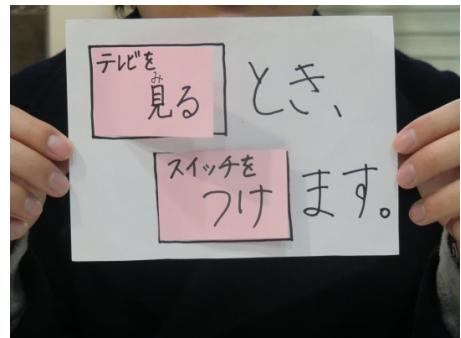
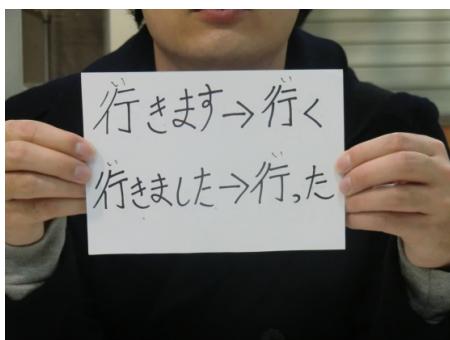
2. 文型を使った学習例

- (1) 文型を提示
- (2) 例文を示す。
- (3) 学習者と応答練習を行う。
- (4) 学習者に文を作らせる。

教案例

時間	項目	活動	教材・留意点
20 文	文型 ～とき 普通形	<p>T: 「～とき、～します」の勉強します。</p> <p>T: 「テレビを見るとき、スイッチをつけます」</p> <p>T: 「～ときの前は普通形を使います。」</p> <p>T: 「普通形」はわかりますか？</p> <p>行きますは行く</p> <p>行きましたは行ったになります。</p> <p>では、見ますは？、 見ましたは？</p> <p>T: 「普通形+ときを使って文を作ってみましょう。」</p>	<p>普通形の復習</p> <p>動詞カードなどを使用</p>

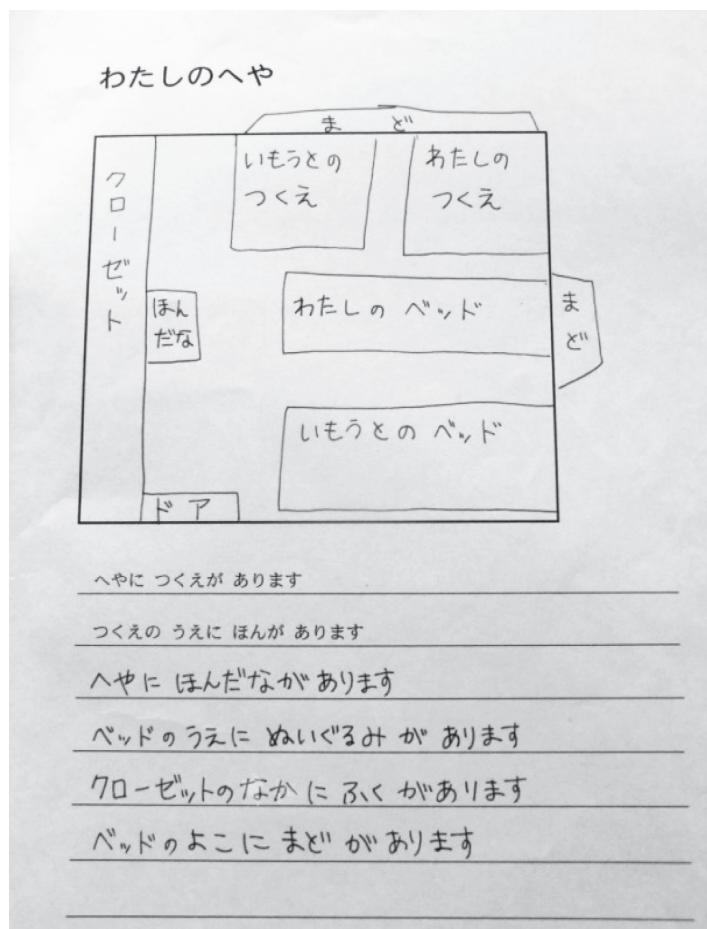
	<p>・・・・・</p> <p>T:「悲しいとき、どうしますか」</p> <p>S:「悲しいとき、～します」</p> <p>・・・・・</p> <p>T:「～とき、どうしますか？」を使って文を作りましょう。</p> <p>文を使って、ほかの人に質問しましょう。</p>	
--	--	--



<Web カメラに提示>

3. 練習例

- ① ペアワーク：学習者が複数の場合、ペアで応答練習などを行う。例）互いに質問をする。相手にインタビューをする、など。
- ② タスク活動：ある課題を与え、学習者が日本語でそれを達成する教室活動の一種。
例）自分の部屋を説明する（図を描いて（下参照））



③ スピーチ：あるテーマをもとに、一人でまとまった話をする。

事前に内容に関する応答練習を行い、それをもとにメモや短文を書かせておくとよい。

例）夏休みの思い出、将来の夢など

④ トピック会話：一つのトピック（話題）を決めて、それについて

自由に話す。関連する語彙など事前に資料を集めて置くとよい。

タスク活動例

●料理(りょうり)を作ろう！

①例

*スイートポテト

- 1 さつまいもの皮をむきます。
- 2 さつまいもをゆでます。
- 3 さつまいもを切ります。
- 4 切ったさつまいもをつぶします。
- 5 つぶしたさつまいもをカップの中にいれます。
- 6 オーブンにいれてやきます。
- 7 完成(かんせい)です。



②書いてみよう！

* __ (料理の名前) _____

1

2

3

4

5

6

Q12 教えるとき、どんな点に注意したらいいですか？

遠隔教育は画面を通した学習なので、お互いに集中力を保てるよう配慮する必要があります。

それにはまず、できるだけ学習者とのやり取りを途切れさせないよう工夫することが必要です。学習者が一人で作業に取り組んでいる時も、指導者側は黙っているのではなく、「出来ましたか」「どうですか」などと常に声を掛けるようにしてください。

また、通常の教室よりも距離があるため、これから何をするのか指示内容をより明確に伝える必要性があります。また、音声が聞き取りにくい場合がありますので、明瞭な発声を常に心がける必要があります。

さらに、学習者のモチベーションを維持するために、指導者はほめる、励ますなど肯定的な言葉で接し、相手の言ったことには必ず反応を示すことが重要です。そして何よりも、笑顔で授業に取り組みましょう。



Q13 どんな教材が使えますか？

1. 絵カード、写真、実物などの視覚的な教材

遠隔教育では、言葉で長く説明することは不向きなので、視覚的な教材が適しています。特に学習者が子どもの場合、教材はあまり複雑ではなく、見やすいものが適しており、楽しく日本語学習をするために必要となります。市販の子ども用の絵カードなども活用することができます。

ただ、Web カメラを通して提示することになるため、教材の大きさには注意してください。大きさは、画面に入りきる程度、絵や写真であれば A5 から B5 程度が適しています。また、色や形が鮮明でわかりやすいものであるほうが良いでしょう。



実物の提示



絵カードの提示

2. 黒板・ホワイトボード

カメラの視野の関係上、大きく広がり、教師が立って書くようなものはあまり適していません。小型のホワイトボードが画面にも入りや

すぐ、使いやすいと思います。ただ、文字が小さいと見えにくいので、大きめに書く必要があります。また、一回にある程度の量しか書き込めないので、複数枚あるとより便利です。また、ホワイトボードがない場合には、画用紙などの厚手の紙を黒板代わりに使うこともできます。



ミニホワイトボードによる提示



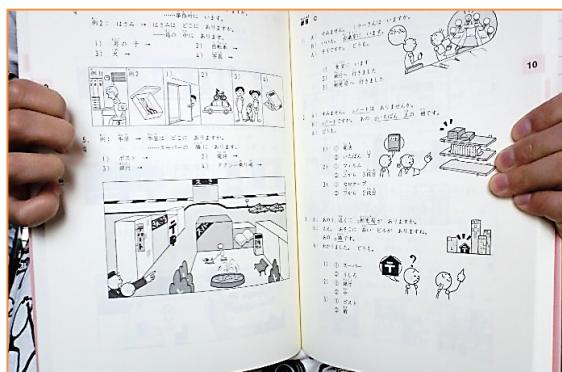
いろいろな絵カード

Q14 教材の効果的な使い方を教えてください

1. 紙や、文字の太さなど

手で持って教材を提示するので、紙は画用紙など、厚めのほうが扱いやすいでしょう。文字は大きめに、濃く書くようにしてください。黒の太目のマジックを使用すると良いでしょう。強調したいところ、目立たせたいところは、色を変えるなどの工夫も必要です。

また、Web カメラを通すと文字が小さくなるので、教科書にある小さな絵や文字をそのまま使用するのは避けましょう。また、教科書や既成の教材が大きくて画面に入りきらないこともあるので、遠隔教育の画面で使うことに適した教材を、新たに作成することも考慮に入れてください。

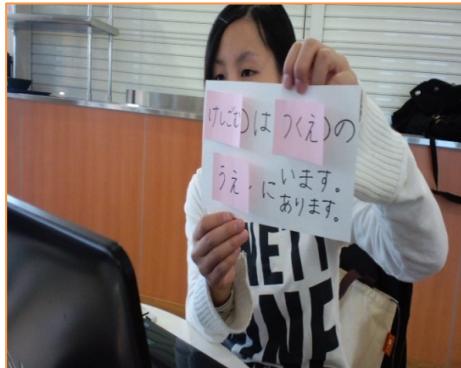


教科書を Web カメラに映したところ
⇒ 文字・図が小さくなるので
全体を把握するのが困難

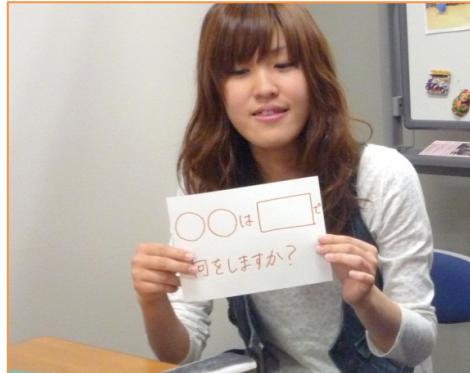
2. 提示の仕方

語彙学習には絵カードを、文型の提示にはあらかじめ文型を書いた紙を使用する、学習者の回答を修正するにはホワイトボードを使うなど、場面によって教材を使い分けます。

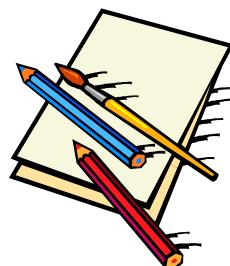
提示する際には、教授者の顔が隠れないように、かつ学習者側にはつきりと見えるようにします。一度に多くの教材は提示できませんので、何回かに分けて提示しますが、その際、学習者が十分理解したかどうか確認することが必要です。



文型提示の例①



文型提示の例②

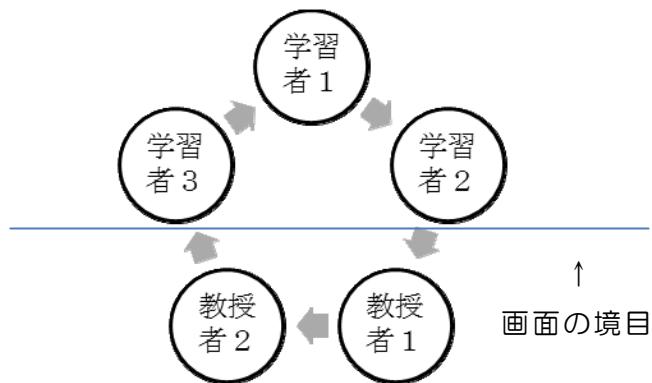


Q15 遠隔教育で使えるゲームなどを紹介してください

1. しりとり

2人以上でできます。指導者と学習者が複数の場合は、下記のように順番に単語を言ってゲームを進めることができます。

なお、このゲームには、ある程度の語彙力が必要です。知っている語彙がどれくらいあるのか、力だめしをしてみてください。



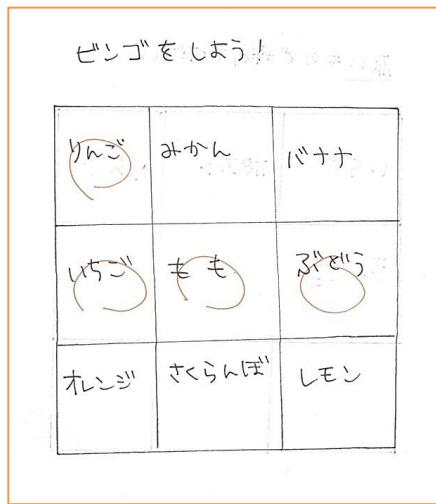
2. 語彙ピンゴ

学習者に、あるジャンルの中からいくつか語彙を書きだしてもらい、それを発表します。次に、書き出した語彙の中からいくつか選んでマスを埋め、その後ピンゴゲームを行います。

ピンゴになった人が勝ちです。

できれば、学習者がよく知っているようなジャンルを選んでください。

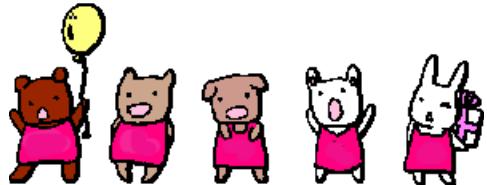
ピンゴの例：くだもの



3. 山手線ゲーム

ある領域、テーマを決め、関連するものの名前を順番に挙げていきます。挙げられなくなった人が負けです。

例) 「どうぶつ」 名前を挙げる：ねこ→いぬ→たぬき・・・



4. 穴埋めゲーム

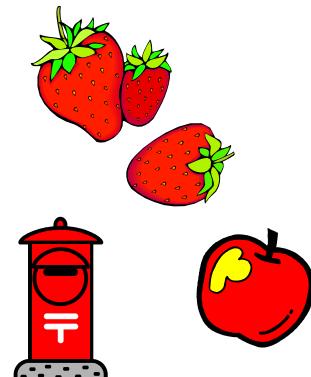
1人でもできます。

決められた数のマスを制限時間内に決められたテーマの語彙で埋めていきます。

例) 1分以内に、マスを赤い色のもので埋めてください。→ りんご、
ポスト、いちご・・・

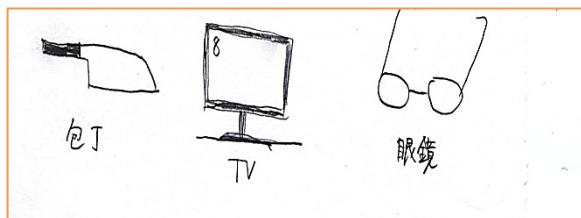
赤いもので埋めてください

いちご	ポスト	りんご
きんきょ		



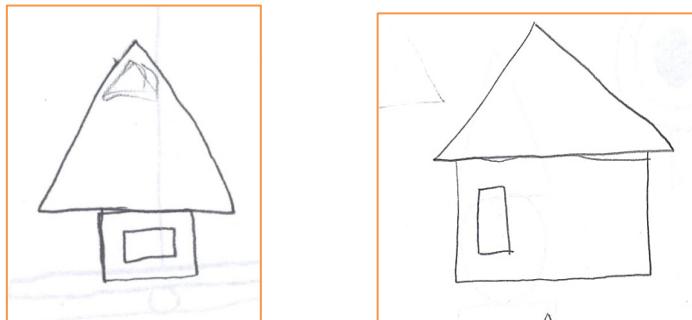
5. 絵描きゲーム

指導者が日本語の単語を言い、学習者に絵にしてもらいます。
例) 「りんご」・「包丁」・「テレビ」・「めがね」



また、上級者になるともう少し複雑な作業ができます。

例) 三角を描いてください。その下に四角を描いてください。その四角の中に、小さい四角を描いてください。家の完成です。



こうして楽しく語彙を学べるとともに、覚えた語彙が本当にあっていいるかどうか、絵にしてもらうことで確認することができます。

* 1～5までの語彙に関するゲームは、語彙学習のまとめとして使用することができます。どの領域の語彙が強く、弱いのかを把握することができるので、次回からの語彙学習に役立てるaosことができます。

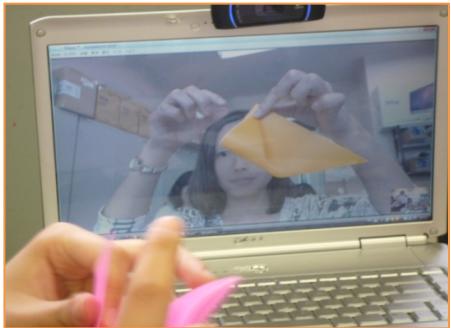
6. 記憶ゲーム

写真や絵を見せて、30秒間で何があるかを記憶してもらいます。その後、何があったかを書き出してもらいます。



7. 折り紙

学習者は、指導者側から日本語での指示を聞きとって紙を折ります。同じものを一緒に作ることで親近感が生まれます。また、折ったものが成果物として残るのも折り紙のよいところです。



折り紙を折っているところ



完成した折り紙

付 錄

(1) 授業の指導案 例①

(2) 授業の指導案 例②

(3) 語彙のテスト

1. 授業の指導案 例①

日時:5/26 1:00-1:50	担当者:田中
到達目標	自分の行動を順番に伝えることができる
学習項目	「辞書形 まえに…ます」「～た形 あとで…ます」

時間	項目	活動	教材・留意点
5分	あいさつ 会話	こんにちは 私はたなかです。 よろしくお願いします。 ・雨は好きですか？ ・どんな天気が好きですか？	
10分	単語	<u>●前回の復習(言う)</u> 飛行機、冷蔵庫、ドーナツ、病院、救急車、信号、 ふみきり <u>●新しい単語(言って書いてもらう)</u> コーヒー、お茶、牛乳、ジュース、自転車、バスタ クシー、消防車、バイク ※わからないものは説明する。	絵カード 漢字で書けるも のは漢字で書い てもらう
20分	文法	きょうは、「～まえに…ます」を勉強します。 「～」には「食べる」や「寝る」という形の動詞が 入ります。この動詞の形は何と言いますか？ →S「辞書形・普通形」 ます形から辞書形へ動詞を変えてみましょう 「飲みます」→「飲む」、「話します」→「話す」 「書きます」→「書く」	文型を書いた紙 を提示 動詞のフラッシュ カード使用

	<p>「ごはんを食べる<u>まえに</u>手を洗います」</p> <p>T:「ご飯を食べること と 手を洗うこと どちらを先に行つたでしょうか？」</p> <p>※指名して答えてもらう。</p> <p>S:「手を洗う」</p> <p>T:「では、みんなは学校へ行くまえに何をしますか？」</p> <p>※1人ずつ書いてもらい発表する。</p> <p>次は、「～あとで…ます」です。</p> <p>「～」のところには「寝た」「食べた」という「た形」の動詞が入ります。形を変えてみましょう</p> <p>「起きます」→「起きた」</p> <p>「書きます」→「書いた」</p> <p>「話します」→「話した」</p> <p>※指名して言ってもらう。</p> <p>T:「宿題をしたあとで遊びます」どっちを先にやりますか？</p> <p>※指名して言ってもらう</p> <p>では、みんなは学校が終わったあとで何をしますか？</p> <p>※1人ずつ書いてもらい発表してもらう</p> <p>それでは「まえに」と「あとで」を使って1つずつ文を作つて紙に書いてください。</p> <p>※書いてもらって見せてもらう</p>	<p>「～まえに」の～には名詞が入ることができるが、そのときは名詞の後に「の」を付ける</p> <p>動詞のフラッシュカード使用</p> <p>「～あとで」の～には名詞が入ることがある。</p>
--	---	---

5分		<p>みなさんは、日本のあいさつをどれくらい知っていますか？</p> <p>「おはよう」「こんにちは」など。</p> <p>じゃあ、ご飯を食べるまえに何て言いますか？</p> <p>→いただきます</p> <p>食べたあとは何て言いますか？</p> <p>→ごちそうさまでした</p> <p>寝る前には何て言う？</p> <p>→おやすみなさい</p>	
10分	折り紙を折る	折り紙で鶴を折りましょう。	指示をしながらいっしょに折り紙を折る

2. 授業指導案 例②

日時：4/27 1:00-1:50	担当者：伊藤
到達目標	地震について身近な知識・情報の獲得
学習項目	語彙、地震に関する語彙・表現

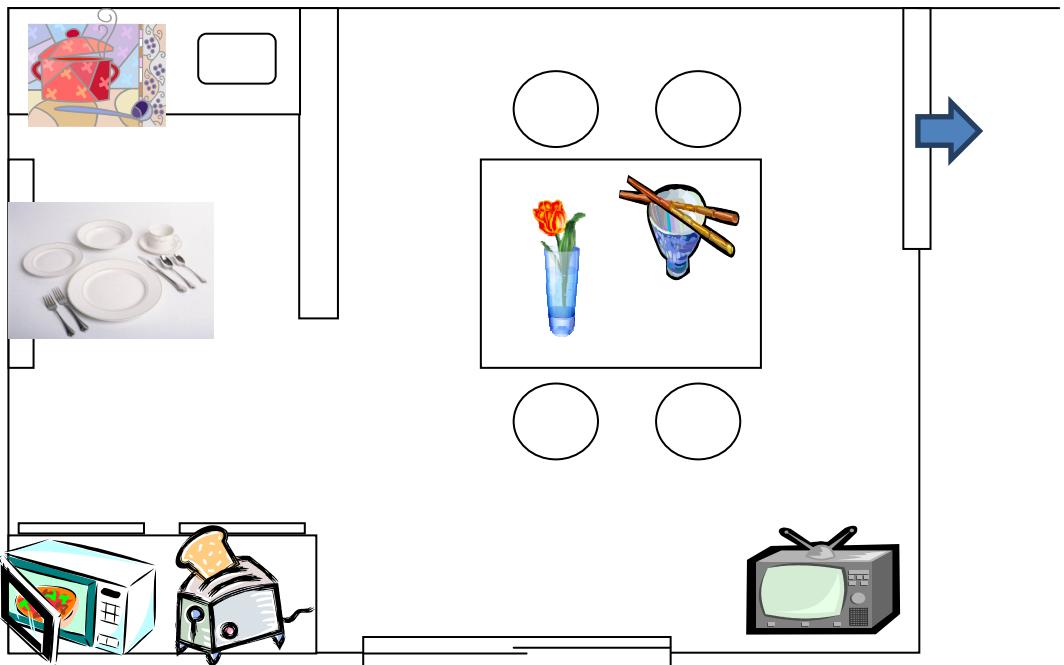
時間	項目	活動	教材・留意点
5分	自己紹介 学習者の自己紹介	指導者の自己紹介 学習者の自己紹介 紙に自己紹介を記入 (名前・住所・年齢・誕生日・好きな動物) 記入後、1人ずつ発表	自己紹介用シート
10分	語彙の練習	・前回の語彙の復習(口頭) ・新出語彙 <u>ばんそうこう</u> 、 <u>かがみ</u> 、 <u>かぎ</u> 、 <u>れいぞうこ</u> 、 <u>こくばん</u> 、 <u>むしめがね</u> 、 <u>じょうろ</u> 、 <u>コンピューター</u> 、 <u>マツチ</u> <練習> 絵カードを見せ、紙に記入 <まとめ> ランダムに絵カードを出して、口頭で答える。	絵カード使用 ※今回の新出語彙は濁点の学習を中心としたもの。促音にも注意。
10分	地震について	<導入> 地震って知っていますか？ 地震が起きたらどんな危険なことがありますか？ 地震が起きたらどうすればいいと思しますか？	『こどもにほんご宝島』P62より

20分	タスク活動	<p>＜展開＞</p> <p>●「ここがあぶないぞ」チェック * 担当者：例を提示</p> <p>話し合いながら、色を塗る その際、部屋の中の語彙を確認</p> <p>教室の図を書く どこが危ないか話し合う</p> <p>＜まとめ＞</p> <p>「もし教室にいるときに地震が来たら、今日やったことを思い出してみてください。」</p>	<p>タスクシート 1を配る。*</p> <p>教室の図を書く用紙を配布</p>
5分	まとめ	<p>今日の感想などを話してもらう。 * 次回の連絡</p>	

* 『こどもにほんご宝島』 (アスク出版) 参照

じしん
地震がきたらどうする？

「ここが あぶないぞ」チェック！

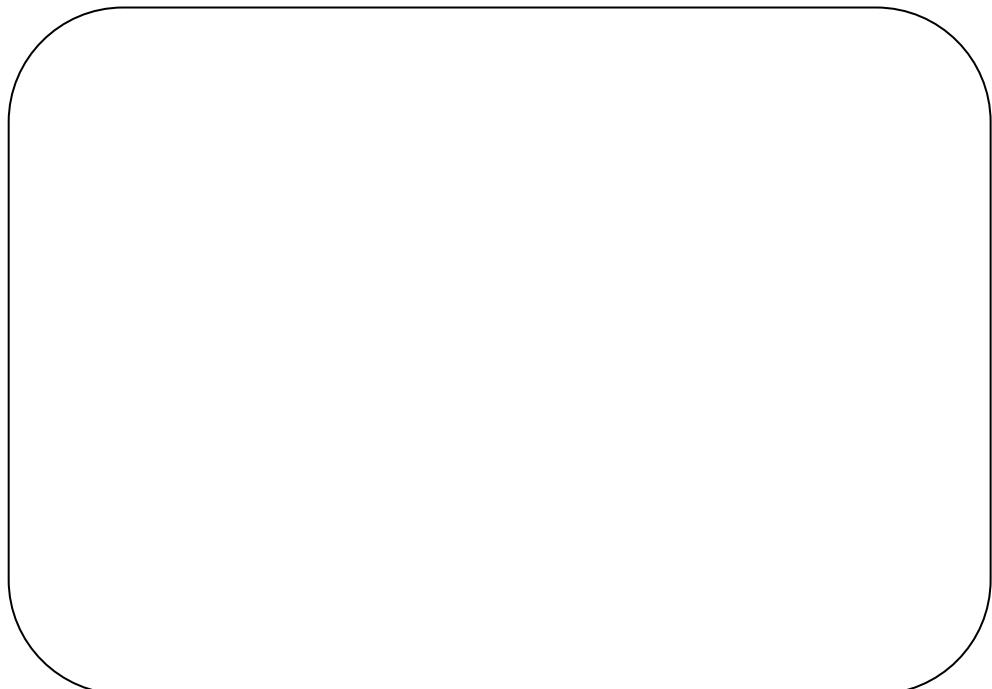


いろ
色をぬってみましょう！

- ・たおれてくると危ないものを「赤」に。
- ・われるとこわいガラスを「青」に。
- ・火事がこわい火の元は「黄色」に。
- ・にげるとき大事な出入口は「緑」に。

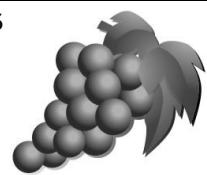
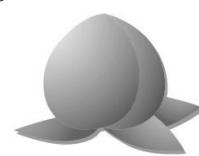
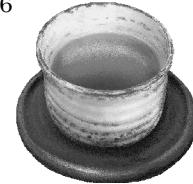
★教室・みんなの^{へや}部屋を 上から見た絵を かけてみましょ。

そのあとで、どこがあぶないか話してみましょ。



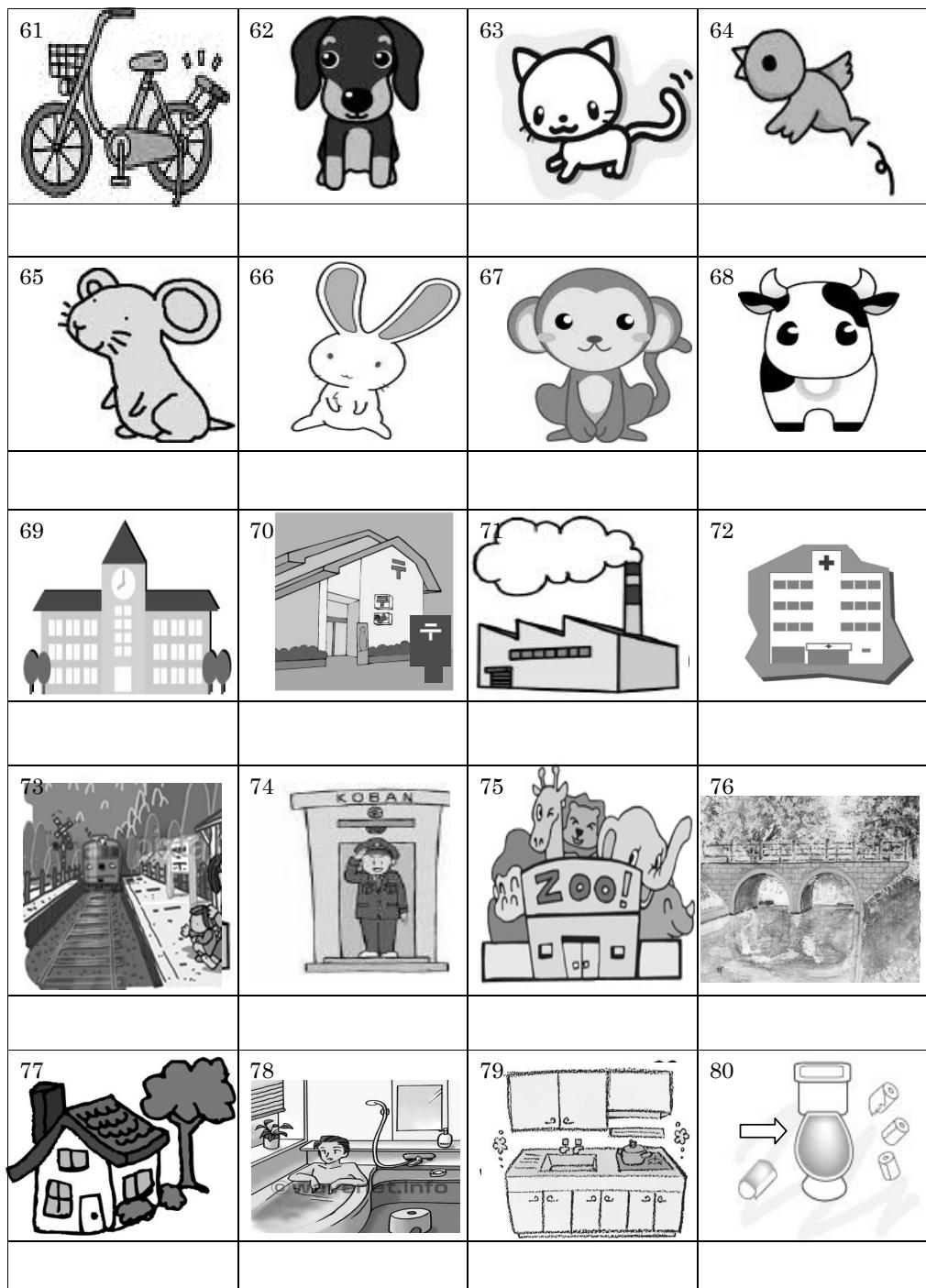
え の し た に ことば を か き ま し ょ う。

なまえ _____

1 	2 	3 	4 
5 	6 	7 	8 
9 	10 	11 	12 
13 	14 	15 	16 
17 	18 	19 	20 

21 	22 	23 	24
25 	26 	27 	28
29 	30 	31 	32
33 	34 	35 	36
37 	38 	39 	40





執筆者

安藤 淑子（山梨県立大学国際政策学部 准教授）＊監修
川手 ちなみ（南アルプス市国際交流協会日本語サロンボランティア）
倉島 伽奈巳（山梨県立大学国際政策学部 3年生）
田中 弥生（山梨県立大学国際政策学部 3年生）
内藤 沙織（山梨県立大学国際政策学部 3年生）
藤田 梢（山梨県立大学国際政策学部 3年生）
渡邊 浩之（山梨県立大学国際政策学部 3年生）

協力

ミリアン ナガイ（アルプス学園）

2012年3月31日 発行

執筆 山梨県立大学遠隔日本語教育プロジェクトチーム

山梨県甲府市飯田5丁目11-1

山梨県立大学 国際政策学部

国際コミュニケーション学科（安藤研究室内）

TEL 055-224-5314

印刷 株式会社 三縁